

令和3年2月8日

神奈川県知事

黒岩祐治様

一般社団法人神奈川県精神科病院協会会長

竹内知夫

一般社団法人神奈川県精神神経科診療所協会会長

斎藤庸男

### 新型コロナウイルスワクチン接種の優先接種に関する要望

日頃より精神疾患や知的障害を抱える人やわれわれの協会の活動に対し、ご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症対策へのご尽力に改めて敬意を表します。

さて、新型コロナウイルスワクチンの接種順位につきましては現在「基礎疾患を有する者」の優先接種が言われておりますが、その中には精神疾患や知的障害を抱える人は含まれておりません。

精神障害や知的障害を抱える人は、その疾病特性からマスク装着等の感染予防が難しい人もたくさんおいでになり、その結果として精神科病院や知的障害者施設で一度新型コロナウイルス感染者が発生すると大規模なクラスターとなることが本県だけではなく、全国的に認められております。このような現状を踏まえ、公益社団法人日本精神神経学会、並びに公益社団法人日本精神科病院協会はそれぞれ別紙要望書を提出しております。

私共としましては、神奈川県におきましても別紙要望書に準じた対応をお取り戴きたく、神奈川県の新規新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、精神障害や知的障害を抱える人への新型コロナウイルスワクチンの優先接種の国への働きかけ、及び神奈川県での優先接種の実施を要望致します。

日精協発第 20074 号

令和 3 年 1 月 20 日

厚生労働大臣

田村 憲久 殿

公益社団法人日本精神科病院協会

会 長 山 崎 學

### 新型コロナウイルスワクチン接種の接種順位に関する要望

新型コロナウイルスワクチンの接種について厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会にて検討されている。検討会資料では「接種順位の上位に位置づける者の接種順位と規模（想定）」として「基礎疾患を有する者」が示されているが、精神疾患を有する患者は対象となっていない。

精神疾患を有する患者は、その疾病特性から手指消毒、マスク装着、外出自粛が困難等により感染予防が難しい側面がある。

特に、精神科病院では閉鎖病棟も存在し、病棟内でのマスク装着、ソーシャルディスタンスの確保、アルコールやソープ等消毒剤設置（誤嚥の発生）の徹底が難しく、医療スタッフが感染対策を懸命に施しても蔓延しやすい環境にある。このようなことから、全国の精神科病院では例年のインフルエンザに対してワクチンの徹底接種を行うことにより、院内大量発生を何とか予防してきた。

ワクチン接種ができていない新型コロナウイルス感染については、令和 3 年 1 月 19 日現在、当会が把握しているだけで、107 会員病院で発生（感染者数 2235 人、クラスター発生病院 30 以上）しており、すでに全会員病院の一割にも及んでおり、その発生数は毎日のように急激に増加している。

また、入院中の患者に新型コロナウイルス罹患患者が発生した場合、病棟での感染エリア・ゾーニングが守れない、理解できない、さらに精神症状（例えば精神運動興奮）から個人用防護具（PPE）の破損等のリスクがあり、新型コロナウイルスに罹患したとしても、相当重症化しない限り感染症対応病院への転院（受け入れ）が困難なことが多く、前述の状況下でクラスターを抱えながら籠城を余儀なくされている精神科病院が増え、会員病院からの悲痛の声が挙がっている。

については、上記を鑑み、精神疾患を有する患者について優先接種対象である「基礎疾患を有する者」から除外しないよう要望する。

令和3年1月28日

厚生労働省健康局健康課予防接種室  
室長 林 修一郎 殿

公益社団法人日本精神神経学会  
理事長 神庭 重信

新型コロナウイルスワクチン優先接種対象について（回答）

令和3年1月25日付事務連絡をもって検討の依頼をいただきました、今般の新型コロナウイルスワクチンの接種順位につきまして、以下のように回答いたします。

1. 高齢者の範囲について

基準となる年齢	理由

2. 基礎疾患をもつ者の範囲について

No.	手引きの該当部分（又は新規）	ご意見	理由
1	重度の精神疾患  （入院治療中の者）	下記	下記文献1,2,3,4,5,6により、重度の精神疾患はCOVID-19の罹患率、致死率が高いことが示されている。
2	重度の精神疾患  ・精神保健福祉手帳または知的障害者手帳を保有する者  ・精神または知的障害年金を受給している者	下記	下記文献1,2,3,4,6により、重度の精神疾患はCOVID-19の罹患率、致死率が高いことが示されている。知的障害に関しては、下記文献3,5により、COVID-19の罹患率、致死率が高いことが示されている。
3	自立支援医療（精神通院医療） 「重度かつ継続」の対象者	下記	上記の入院中でない、あるいは手帳・年金を受けていない場合で、「重度かつ継続」と診断された精神疾患を抱えている者を対象とするため。

## 意見

日本精神神経学会は、重度精神疾患を抱える人たちを、新型コロナウイルスワクチン接種の接種順位の上位に位置づけることを要望します。

その理由は、米国における大規模調査により、精神疾患を持つ人々は COVID に感染する可能性が高く（文献 1, 2）、さらに米国（文献 2）、英国（文献 3）ならびに韓国（文献 4）の大規模調査結果から一度感染すると他の人口よりも死亡率が高いことが示されているからです。

新型コロナウイルスワクチン接種が始まった英国では、予防接種に関する政府の合同委員会（Joint Committee on Vaccination and Immunisation）の報告（文献 6）において、65 歳以上の人にワクチン接種を行い、次いで 16 歳以上のリスクグループの人に接種することが提案されています。この委員会が定めた主なリスクグループに、重度の精神疾患と重度の知的障害が位置づけられています（表）。

重度精神疾患を持つ患者は、その障害のため、感染予防を独力では十分にできないことがあります。しかも病気の性質上、精神科専門病院での入院治療、それも閉鎖病棟での治療が必要となることが多く、特に閉鎖病棟は適切な感染予防処置を行っていても感染拡大が起こりやすい環境です。精神科病院入院者（約 30 万人）の平均年齢はおよそ 65 歳で、多くの人が糖尿病、肥満、高血圧などの合併症を併発しています。昨年末の段階で、入院患者・職員が感染した精神科専門病院は全国で 109 にのぼり、うち 4 名以上のクラスターが発生した病院は全国で 38 にものぼっているようです。患者が感染した場合の治療は、感染症の治療と同時に、精神症状も適切に治療できる医療環境を必要とするため、十分な治療を受けることが困難な事態も起きています。

表. 英国政府合同委員会が特定した主なリスク疾患群に含まれる精神疾患 (文献 6)

- severe mental illness (文献 1, 2, 3, 4, 6)
- severe and profound learning disability (文献 3, 5)

## 文献

1. Bidirectional associations between COVID-19 and psychiatric disorder: retrospective cohort studies of 62354 COVID-19 cases in the USA. Taquet M, et al. *Lancet Psychiatry* November 9, 2020 [https://doi.org/10.1016/S2215-0366\(20\)30462-4](https://doi.org/10.1016/S2215-0366(20)30462-4)
2. Increased risk of COVID-19 infection and mortality in people with mental disorders: analysis from electronic health records in the United State. Wang QQ, et al., *World Psychiatry* 2021;20:124–130
3. Living risk prediction algorithm (QCOVID) for risk of hospital admission and mortality from coronavirus 19 in adults: national derivation and validation cohort study  
Ash K Clift, et al. *BMJ* 2020;371:m3731 | doi: 10.1136/bmj.m3731 1
4. Association of mental disorders with SARS-CoV-2 infection and severe health outcomes: nationwide cohort study. Jeon HL, et al. *Br J Psychiatry*. 2021 Jan 7:1-8. doi: 10.1192/bjp.2020.251.
5. The Learning Disabilities Mortality Review (LeDeR) programme  
<http://www.bristol.ac.uk/media-library/sites/sps/leder/Deaths%20of%20people%20with%20learning%20disabilities%20from%20COVID-19.pdf>
6. Joint Committee on Vaccination and Immunisation : advice on priority groups for COVID-19 vaccination, 30 December 2020. Updated 6 January 2021  
(<https://www.gov.uk/government/publications/priority-groups-for-coronavirus-covid-19-vaccination-advice-from-the-jcvi-30-december-2020/joint-committee-on-vaccination-and-immunisation-advice-on-priority-groups-for-covid-19-vaccination-30-december-2020>)

厚生労働大臣

120 カ国の 250,000 人以上の精神科医を代表する世界精神医学会は、2020 年 10 月に開催された総会において、現在の新型コロナウイルス感染症の世界的流行時における精神疾患を持つ人々のヘルスケアについて基本方針表明を採択しました。参考までに、この WPA の基本方針表明のなかから、関連する部分の文書を添付させていただきました。

WPA の基本方針表明は、精神疾患のある人々は新型コロナウイルスに感染しやすく、また一度感染すると他の人々よりも死亡率がはるかに高いことが複数の国の調査で示されたことを受けて起草されたものです。

WPA の緊急事態対応諮問委員会 (Advisory Committee on Response to Emergencies; ACRE) は、今週初めの会議でこれらの事実について議論し、世界精神医学会は政府および政府組織・非政府組織に対し、ワクチン接種プログラムにおける優先接種対象者に精神疾患のある人々を含めるよう働きかけるべきだと決定しました。

貴政府には、ぜひそうしていただきたいと思います。ワクチン接種プログラムにおける優先接種対象者に重度の精神疾患のある人々を含めることは、臨床上および公衆衛生上の根拠に十分裏付けられており、また精神疾患のある人々に対する人権尊重を表明することにもなります。

世界精神医学会は、各国の状況のモニタリングを引き続き行い、また精神疾患のある人々とその家族に対して新型コロナウイルスが及ぼす影響とワクチン接種の効果について、専門家および政府機関に情報を提供していきたいと考えています。我々の調査で得られる追加情報を、引き続き皆様に提供していきたいと思います。

謹んで敬意を表し、穏やかで健康的な新年をお祈り申し上げます。

世界精神医学会 会長  
アフザル・ジャベド博士